



景観を考慮し、フェンスも亜鉛めっき仕上げのまま、色を抑えています。



リビング・食堂と中2階がお互いから見通せるようにしました。



手摺り上部は片持ち強化ガラスで視界を良くしています。



落ち着いた外壁色です。ガラスの透明感をアクセントとしています。

「通りの間（多目的・ヒーリング空間）」のある家

■ 通りの間（多目的空間）

玄関から各室をつなぐ廊下・階段室をまとめて広げ、「通りの間」としました。個室の行き来に必ず通るこの空間を、家族が育まれる多目的な活動空間となるように意図しました。友人達との交流もこの空間が主となります。

■ 外観

周辺との調和を考慮し、落ち着いた外壁色としていますが、ガラスの透明感をアクセントとしています。

■ 自然感を楽しむ

外部へ開き、風景・自然感を楽しみ、風景を取り込むことで、小さな37坪の家とは感じさせない豊かな空間になっていると思います。

■ 建ぺい率が40%

1フロア20坪の制約の中でも家族が育まれる多目的空間を確保したく、階段吹抜けを介して、中2階（一般床より350下げ）と連続した「通りの間」を計画しました。

■ 「通りの間」とは

玄関から各室をつなぐ廊下・階段室をまとめて少し広げたスペースです。個室の行き来に必ず通る空間です。大家族で住んでいた昔の家には何でもない余空間がありました。今の時代、家族と暮らすに効果的な余空間として意図しています。わずかな広げることによって、いろんな生活シーンが考えられます。

■ 第2の居間

- 遊び場、走る、のぼる、なわとび
- 家族の通りみち
- 体操や軽い運動も可
- 気持ちの晴れる空間
- 個室ではしにくい、のこぎり・カンナの作業も
- 温室にもなる
- 日曜大工・手伝いもしやすい
- 植物・ペットの手入れ
- サンプルーム・縁側・ひなたぼっこ
- お茶するティーコーナー
- 景色、木々を見てヒーリング



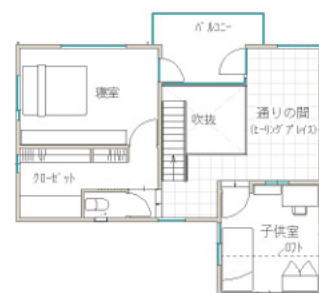
「通りの間」2階部分、そこから続くバルコニー・・・共に自然感を楽しめる空間となっています。



一般床より350下げて中2階とし、1階空間との連続性を強めました。



1F plan



2F plan



食器棚上部の開口からも風景と採光を採り込んでいます。



子供室



吹抜けを介して中2階を含めた通りの間としました。